

對スル謝禮支給ノ件  
首題ノ件左記ニヨリ支給相成可然哉

記

一 樂員謝禮

(イ) 謝金算出方法

(二) 演奏會一回毎ニ一曲ニツキ一人 十圓

(三) 放送及蓄音器レコード録音料 同 十五圓

但シ新交響樂團及東京放送管絃樂團ニ限り放送料ハ日本放送協會  
ノ直接負擔トシ本會ハ録音料ノミヲ負擔ス

(四) トーキョー出演料 一人 十圓

(ロ) 樂團別曲目擔當表 (演奏會一回ニ付)

樂團名	人員	イニール曲	ツエレン曲	ビツツ曲	シエトラ曲	合計
新 響	六九	六九	五一	六六	六九	二五五
中 響	三二	一七	二九	一八	二九	九三
音樂學校	三三	二九	二九	三〇	三三	一二一
宮内省	四	一	一	四	一	七
星 櫻	三	一	一	一	三	四
東 管	一八	八	一	七	一六	四二
計	一五九	一二五	一二一	一二五	一五一	五三二

(ハ) 支給方法

各樂團毎ニ各樂團ノ長ニ支給スルモノトス

(ニ) 金額

1 新 交 響 樂 團	三七、八三〇・〇〇
2 中 央 交 響 樂 團	一七、二六五・〇〇
3 東 京 音 樂 學 校 管 絃 樂 部	七、二九五・〇〇
4 宮 内 省 樂 部	九、四〇五・〇〇
5 星 櫻 吹 奏 樂 團	五、六五〇・〇〇
(但シ吹奏樂器運搬費トシテ六〇圓ヲ含ム)	三九〇・〇〇
6 東 京 放 送 管 絃 樂 團	二、九一〇・〇〇

二 委員係員手當  
三 指揮者謝禮 (二人七百五十圓)

(国立公文書館蔵「紀元二千六百季祝典記録 第十一册」七〇五〜八三五頁)

二 昭和十六年ノ終戦

(一) 軍隊の校舍使用に関する文書 (昭和十六年七月、八月)

發文八一號

昭和十六年七月十日

文 部 次 官 印

東京音樂學校長殿

軍隊ノ校舍使用ニ付便宜供與方ニ關スル件

將來學校ノ情況之ヲ許ス場合ニ於テ軍隊ノ演習等ノ爲校舍ヲ宿泊所  
等トシテ使用方ニ關シ軍關係機關ヨリ申出有之タルトキハ可及的便  
宜ヲ供與セラルル様御取計相成度

(昭和十六年度同十七年度 國有財産關係 東京音樂學校會計課)

發會三二〇號

昭和十六年八月八日

文部大臣官房會計課長

文部書記官 柴沼 直

東京音樂學校校長殿

貴校所屬ノ土地建物等ニ關シ軍ヨリ緊急使用方申出有之タル場合ハ

大學並學校及圖書館特別會計所屬國有財産管理規程第七條第一項ノ規定ニ拘ラス當分ノ間貴官限り適宜御處理相成差支無之依命此段通牒ス

追而軍以外ノ方面ヨリ緊急使用方申出有之タル場合モ授業上其他支障ナキ限り右ニ準シ御取扱相成支障無之爲念申添フ

(昭和十六年度同十七年度 國有財産關係 東京音樂學校會計課)

## (二) 繰上げ卒業式学校長式辞案 (昭和十六年十二月)

學校長式辞案

本日茲ニ第五十三回卒業證書授與式ヲ舉行スルニ當リ聊カ所懐ノ一端ヲ延<sup>ビ</sup>ベテ卒業生竝ニ修了生諸子ニ告グ

曩ニ畏クモ宣戰ノ大詔ヲ渙發アラセラレタルハ我等國民ノ均シク恐懼感激措ク能ハザル所ナリ今ヤ眞ニ前古未曾有ノ重大時局ニ際會シ皇國ノ隆替東亞ノ盛衰岐ルルノ秋<sup>ト</sup>我等國民ハ此ノ優渥ナル聖旨ヲ奉戴シ一億一心鐵石ノ決意ノ下ニ國家ノ總力ヲ擧ゲテ東亞ノ禍根ヲ艾除シ眞ニ世界人類ノ平和ヲ將來センコトヲ期セザルベカラズ、コノ秋ニ當リテ將ニ學窓ヲ出デントスル諸子ハ須ク新タナル覺悟ト勇氣トヲ以テ進テ國家ノ要望ニ答ヘ率先大イニ祖國ニ報ユル所ナカルベカラズ

既ニ開戰劈頭ニ擧ゲタル我が皇軍ノ輝カシキ一大驚異的戰果ハ元ヨリ御稜威ノ下皇軍ノ多年ニ渉ル苦心努力ノ結果ニ他ナラザルモ亦以テ我が日本民族ノ優秀性ヲ世界ニ示セルモノトイフベク我等ハコノ偉大ナル精神力ヲ更ニ文化ノ諸領域ニ亘リテ一層昂揚センコトヲ期スベキナリ即チ我が肇國ノ大精神タル八紘爲守ノ大義ノ宣揚ト具

現トニ任ズベキ我等日本民族ノ指導的地位ト權威トニ鑑ミ眞ニ世界史的立場ニ於テ日本の性格ヲ主體トセル世界文化ヲ顯揚スルコソ日本民族本來ノ使命タレバナリ

夫レ音樂克ク人間ノ性格ヲ練磨シ社會ヲ醇化シ以テ國民精神ヲ昂揚スルニ止マラス更ニ民族性ノ精華ヲ最モ具體的直接的ニ表現スルモノニシテ正ニ一國文化ノ精髓タリサレバ我國樂ノ創成ト音樂文化ノ昂揚トヲ以テ使命トセル諸子ノ責務ヤ洵ニ重且大ナリトイフベシ即チ是レガ成果ヲ擧グルト否トハ實ニ懸リテ諸子ガ雙肩ニアリ

諸子深ク思ヒヲコトニ致シ宜ク肇國ノ理想ヲ體現シ皇國民タルノ自覺ニ徹シ眞ニ一世ノ師表トナリテ光輝アル傳統ニ培ヒ先覺者ノ偉業ヲ顯彰シ以テ國樂創成ノ大業ニ邁進スベシ是レ實ニ諸子ガ音樂文化顯揚ノ重責ヲ完ウスル所以ノ大道ニシテ又ソノ窮極ナリ諸子能ク是レヲ思ヒ能ク是ヲ努メヨ一言以テ式辭トナス

昭和十六年十二月二十六日

東京音樂學校長從三位勳二等 乘杉嘉壽

(手書き) (祝辭弔祭文案)

## (三) 入學者銓衡における外国語の取扱い (昭和十七年九月)

昭和十七年九月十六日起案

入學者銓衡ニ於ケル外國語取扱ニツイテ

發專一八〇號ヲ以ツテ別紙ノ通り通牒有之タルニヨリ本校入學試験ノ外國語廢止ニ關シ左記ノ通り印刷物ニヨリ入學希望者ニ通知致シ度可然哉